今月のオレが甘かった

宝くじ看板!!

お問い合せ
モッサイ社
075・693・3324

社名も看板も一発勝負 目立たな意味無いっしょ

一度見たら忘れられない看板は、四条木屋町阪急入口そば、京都駅地下鉄前等の宝くじ売場で

よく当たるとウワサの宝くじ売場にはヘンな看板があるってんで急行すると、チュウポーズしてる兄貴に1億5千万円が出た！の文字。「問い合わせはモッサイ社へ」…って妙にインパクトがある。これ何？ってんで聞けば「あれ、僕」。2名足らずのモッサイ社の片割れ、米光氏だった。宝くじと全然関係ないやん。「若いヒト向けにね。ハデなんでもOK」と宝くじ関係者の依頼にて米光氏が描き始めた看板。だから「インパクトで勝負!!」って…。他にキングコングが暴れまくってたり、ヤシの木が生えた島で少年が笑顔でバンザイしてたりと、やっぱりヘン。でも確かにインパクト高しで、目立つ目立つ。それにしても何でこの社名に？「一回で覚えれるからええでしょ」うん。確かに。

GOODS

毛沢東に町家で会える!? それが京都文化屋雑貨店

待望の京都店はオーナーのこだわりで、静けさの残る富小路三条にオープン

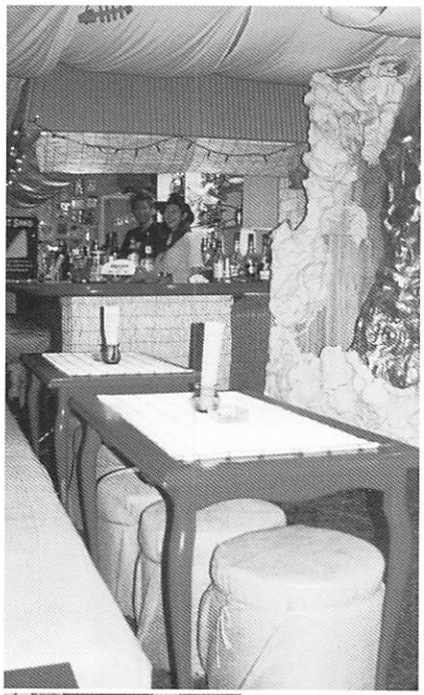
キッチュ&チープ、下着からヘルメットまで揃う駄雑貨屋（？）的存在で私達にワクワクを届けてきてくれた文化屋雑貨店。そのオンリーショップがついに京都にオープン。品揃えは東京のショップと同じで、さらに京都らしさが加わったって…。なんと元は町家。なんや落ちつくわぁ～の心地よさにはワケがあったのね、ってことで棚の向こうには坪庭、フィッティングルームは仏間というから、有り難いようなバチ当たりのような…。店の軒先には毛沢東の肖像画がゆ～らゆらと、かもしだされるチャイニーズテイストと京情緒がミックスされて、そのさじ加減ったら絶妙なんです。噂を聞きつけたファン達が他府県からもゾクゾク集まってるんだって。

夏の必需品Tシャツがこのカワイさで1000円からなら即買い&まとめ買いするしかない

200円スカーフ発見！ 岡田香絵／情報レポーター

●京都文化屋雑貨店
きょうとぶんかやざっかてん
京都市中京区富小路三条下ル朝倉町543
075・213・5119
11:00～20:00／不定休

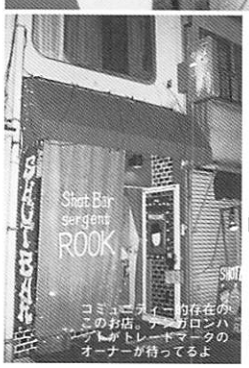
NIGHTSPOT



本日のイワオ酒　時価、はぐれピラフ耗情派700円など、フードメニューも一癖アリ

スイカ+オレンジ!!? その答えはココにある

ここサージェントルークでボクが必ずオーダーするのがラム。プリンみたいなあま～い香りのものからクラクラのアルコール度数高しのものまでと、ラムだけでも20種類以上。その日の気分を伝えればオーナーがまさにコレッ!!て一杯をセレクトしてくれる。けど、ボクが秘かにハマッてるのが、恋し～い北の大地で育った夕張メロンのカクテル。メロンリキュールベースだと信じ込んでたのに、スイカリキュール+オレンジジュース=夕張メロン味!!という秘密の法則が判明。それってひと昔前に流行った、プリン+醤油=ウニ味ってやつと一緒？と、味覚の神秘（？）を実感したボクでありました。

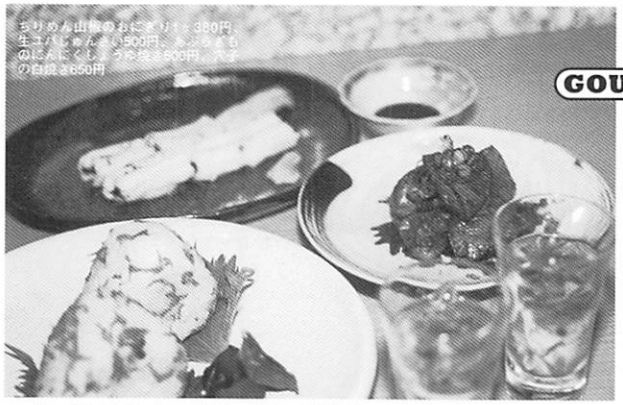


コミュニティ10存在のこのお店。ナンガロンハーブがトレードマークのオーナーが待ってるよ

蜂蜜+胡瓜=メロンもね　厚朴大輔／ドラマー

●Sergent Rook
サージェントルーク
京都市左京区浄土寺馬場町2－7
075・761・5158
19:00～1:00／無休

GOURMET

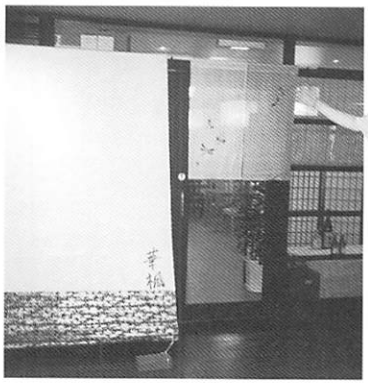


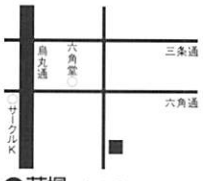
もりもり山椒のおこわ1：380円、生ユバ…550円、…
@じゃこ…
の白飯…650円

旬の花鳥風月が織りなす優しいごはんでなごみましょ

華楓の華は春の桜、楓は秋のカエデ。店名からもわかる旬のモノへの思い入れと、冷凍や化学食品は一切排除のスタイルが一番よく表れてるのが、実はご飯。どんなブランド米でも流通を通せば避けて通れない農薬問題、でも華楓のご飯は四国で農家を営む実家が自分とこ用に作ってるお米を送ってもらってる…と言えば、この気構えわかってもらえます？　体に優しく心ばえ穏やかに、一日の疲れを癒してあげたいから、仕事上がりのお疲れ5時頃に一番おいしい味になる朝絞めの鶏を9時に仕入れて夜のお越しをお待ちしてます。いっぽうランチは20名限定、お昼のチャイムを聞いたらすぐにお店に来てくださいね。

割烹のような落ち着いた佇まい。でもお値段も雰囲気も至って庶民派。これからは洋風メニューも充実の予定





●華楓　かふう
京都市中京区東洞院六角南東角
ロイヤルプラザ2F
075・212・0581
11:30～14:00　17:00～23:00
（土は夜のみ）／日休

ここの建物ごとお奨め　亀田佳明／店主